CITY OF WATER

「水の都」であった東京

街中に河川や水路が
張り巡らされていた江戸時代。
地方からの生活物資が船で運ばれるなど、
水運は江戸の経済や人々の生活を支えており、
江戸は水の都として栄えていました。
都市づくりの様々な機会を捉え、
良好な水辺空間を創出する
取組を進めています。

北沢川緑道・烏山川緑道

現在

かつての川が暗渠となり、近年では、上部空間に水辺や緑道を整備しています。

Ⓐ玉川上水・内藤新宿分水散歩道

現在

新宿御苑内にかつての玉川上水の流れをしのぶ散歩道を整備しました。

Ⓑ渋谷川

過去

現在

未来

清流の復活や川沿いの水辺空間を創出する動きが始まっています。

Ⓒ日本橋

江戸時代

昭和初期

現在

戦後は首都高の建設により、かつての景観は変貌を遂げています。

［古地図］人文社復刻版懐宝御江戸大絵図を使用。（原本刊行年：天保十四年（1843））協力：こちずライブラリ　［重ねた図面］現在の図面を、古地図に併せて加工しています。［P34 図版］「東都両国ばし夏景色」国立国会図書館ウェブサイトから提供：［北沢川緑道・烏山川緑道］© SETAGAYA　［過去の渋谷川］「渋谷の記憶」（渋谷区教育委員会発行）から　［渋谷川の未来］東急電鉄　［江戸時代の日本橋］国立国会図書館蔵　［昭和初期の日本橋］中央区立京橋図書館蔵